



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴  
22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

## 援農状況

Let's Activate Area AGRI



空梅雨とはいえ、蒸し暑い中、大勢の皆さまに「有償援農ボランティア活動」に参加していただきありがとうございました。

- ・田植えの補植・玉ねぎの収穫・じゃがいもの収穫・梅もぎ
- ・ねぎの定植・ピーマンの支柱立と誘引・いろいろな草取り

6月の援農時間 : 1,104.5h 対象農家 : 13軒 参加者 : 43人  
援農今期累計 5938h (前年比 124%)

## 援農体験記 若葉マークで奮闘中 千人町 館山伸枝

「これからの日本は、農業に力を注がなくちゃ！」と思い立ち、調べて探してやっと[すずしろ 22]さんと出会いました。

初めての援農作業はトマトの定植。ポリポットの下から覗くミミズに内心悲鳴を上げつつ、ハウスの奥まで延々と並ぶトマト苗を、せっせと定植したことが忘れられません。本をかじっただけの、超初心者の私に、大事な農作業を任せてくださった農家の皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。あれから早くも数ヶ月。蒸し暑い季節で援農も楽ではありませんが、いろいろな野菜の収穫シーズン真っ只中でもあり、楽しさも盛りだくさんです。まだまだ初心者マークの取れない私で、多々ご迷惑もお掛けしていますが、早く仕事を覚えてお役に立てるよう頑張りますので、今後ともご指導よろしくお願いいたします。

## 新しく入会された方々

米山多美さん (打越町)、安喰日菜さん (子安町)、森剛さん (散田町)

## 富所農園便り

6月末、栗林との境の排水溝工事完了。道幅が1メートル広がり更に栗林側に歩道が出来ました。7月上旬、西側道路の轍補修と東側の土留め工事を村内さん(地主)が自前でしてくれました。トマト、キュウリがあちこちで実りました。茄子はどこも芳しくないのは土壌が合わないのかな? 薩摩芋、里芋は順調です。梅雨明けまで雑草との格闘が続きます。(酒井敏夫)

## イベント情報

- ・ 10月27日(土)すずしろ祭り (会員間の交流を目的の収穫祭)
- ・ 会のピーアールを目的に JA 農業祭への参加を模索中(秋実施予定)

- 第5回理事会 (台町市民センターPM6:00~8:30) 理事9名幹事1名計10名出席
- ・ 4月1日より NPO 法変更に伴い①代表理事制への移行 (法的責任者として代表1名だけ登録、名称も代表理事に・理事長中村氏) ②法務局・東京都への届け出が大変煩雑となりましたが、無事すべて終了したとの報告を受けました。
  - ・ 地産地消分科会より水田見学会の報告 (臨時増刊ページ参照)
  - ・ 保健所主催の食育推進協議会へ中村氏が参加し、その報告を受けました。
  - ・ 援農謝礼金が今月の支払い分より農家¥540 会員払い¥460 に変更し、又技術料 200 円の上乗せは廃止しました。
  - ・ 会計報告
  - ・ 富所農園報告 区画境界の確認をした。トイレは設置しない。
  - ・ 前年までの収穫祭を検討、名称をすずしろ祭りに変更、会員間の交流を図る。いちよう祭りは不参加の予定。
  - ・ 援農分科会 援農について検討会の活動を始め、来年2月まで行う

## ちょっと耳にした情報・アドバイス

### 大玉トマトについて

小比企町中西伸夫

原産地はペルーのエクアドルといわれています。その後アメリカ・メキシコ・ヨーロッパに16世紀に導入、19世紀に野菜としてイタリアへ。日本には17世紀に入ってきたといわれております。



定植は、大きさ30cm位、第1段目の花が1つ開花したものを、通路側に花が向くようにすると、あとの仕事がやりやすいと思います。開花した花には、ホルモン処理が必要です。トマトは花粉が非常に少ない為に、ホルモン処理をしないと着果しません。温室の場合はマルハナバチという、専門のハチを用いることもできます。ホルモン剤(トマトトーン)は、低温の時は濃く、気温が20℃以上になったら、100倍液を1週間に1度、1段目から、最後の段まで処理します。

脇芽の剪定は、葉の付け根の芽は全部摘み取ります。1本にして支柱に結わえていきます。害虫にあっては、油虫の防除はシルバーマルチを用いると、被害が軽減されます(油虫は光るものを嫌う)。又トマトは雨を嫌うので、雨除け栽培も良いと思います。入梅の時は10日に1回位で疫病対策をした方が望ましい。

# イベントの報告

6月30日実施(ブルーベリーの挿木講習会)12名の参加  
講師;代表理事中村貞夫氏

さし木に適した時期は、梅雨どき。さし床は鹿沼土を鉢の下から大粒、中粒、小粒と3層にする。さし穂は当年枝で表皮の充実した部分を約8センチとり、カッターで斜めに切る。ブルーベリー3品種で実習し、持ち帰りました。

講義中の中村さん



熱心に聴く受講者



ブルーベリー畑に出て



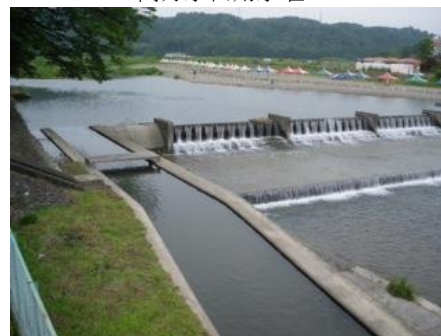
挿木完成 (持ち帰り)



7月10日実施(高月町水田見学会)参加者19名  
講師;澤井農園の澤井勝巳氏

7月10日高月水田見学会を行いました。取水堰、用水路、合鴨農法水田を見学しました。お話は、高月地区で営農集団をつくり、共同で農機具の使用や農地の保全をしていること、水利組合をつくり取水堰を管理していること、江戸時代からの米生産や秋川多摩川の水運の歴史などでした。

高月水田用水堰



高月水田用水路



補植の為に手植中



仕事中のカルガモ



**事務局より:** 桑の収穫が7月25日より始まります。皆様参加をどうぞよろしくお願ひします。(具体的な場所や日程等は7月12日にメールにてお知らせしてある通りです)